

消 防 概 況

令和5年（1月1日～12月31日）

火災件数 172 件 (R4 146 件)	前年比較	主 な 火 災 原 因	
	26 件増	電気関係	38 件 (22.1%)
	17.8%増	たばこ	15 件 (8.7%)
		放火（疑い含）	12 件 (7.0%)

救急件数 45,405 件 (R4 42,319 件)	前年比較	主 な 事 故 種 別	
	3,086 件増	急病	29,880 件 (65.8%)
	7.3%増	一般負傷	6,461 件 (14.2%)
		交通事故	1,869 件 (4.1%)

救助件数 163 件 (R4 175 件)	前年比較	主 な 事 故 種 別	
	12 件減	交通事故	62 件 (38.0%)
	6.9%減	水難事故	36 件 (22.1%)
		火災	2 件 (1.2%)

警戒件数 743 件 (R4 619 件)	前年比較	主 な 事 故 種 別	
	124 件増	自火報等の発報	320 件 (43.1%)
	20.0%増	油の漏洩	110 件 (14.8%)
		廃材焼却	55 件 (7.4%)

火 災 概 況

令和5年中の火災件数は172件（前年比26件増）で平成17年以降、最も多い件数となりました。死者数は8人（前年比3人増）、負傷者数は32人（前年比2人増）となりました。

また、住宅からの出火は建物火災の55%を占めていることから、住宅火災を未然に防止するため、消防局と消防団、防火連合協議会、自治会が連携して地域に密着した火災予防に努めています。

区分	令和5年	令和4年	比較増△減
火災件数（件）	172	146	26
建物（住宅火災）	103(57)	102(62)	1(△5)
車両	15	18	△ 3
船舶	1		1
林野	1		1
その他	52	26	26
焼損床面積（㎡）	5,725	4,172	1,553
焼損棟数（棟）	165	161	4
全焼	31	32	△ 1
半焼	12	10	2
部分焼	51	35	16
ぼや	73	84	△ 11
死者（うち放火自殺者）（人）	8(1)	5(2)	3(△1)
負傷者（人）	32	30	2
り災世帯（世帯）	102	98	4
り災人員（人）	223	247	△ 24
主な火災原因（件）			
電気機器	18	7	11
配線器具	9	10	△ 1
電灯電話等配線	7	9	△ 2
電気装置	4	3	1
たばこ	15	20	△ 5
放火（疑い含む）	12	9	3
こんろ	8	10	△ 2
ストーブ	5	12	△ 7

※ 比較増△減は令和5年を令和4年と比較したものです。